

特許登録  
第7580806号  
商標登録  
第6600331号

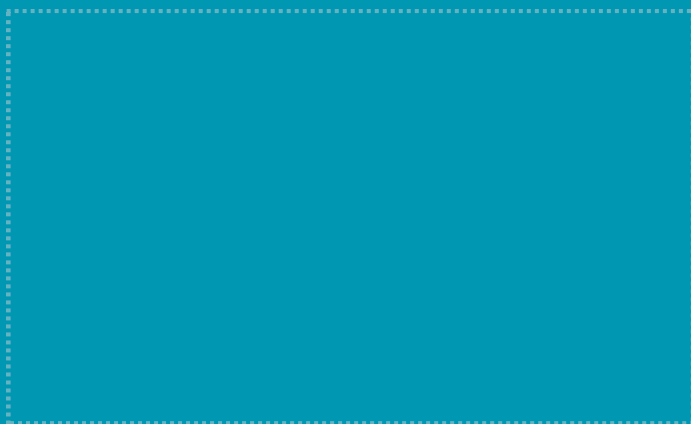
# ワイデンスリット

あらゆる条件のあと施工スリット工事に対応

不安を解消し

将来に備える為の

耐震スリット工事



# ワイデンスリットの施工方法

ワイデンスリットは、様々な状況に対応可能なあと施工耐震スリット工事のパッケージ商品です。

施工状況に合わせた施工方法やオプションをご提案します。

## **湿式工法** 現在、最も主流な工法。

### メリット

- 水を使うことで、施工が効率よく行えます。
- 乾式工法よりも安価に施工可能です。
- 粉塵の飛散が抑えられます。

### デメリット

- 大量の水が必要となり、廃水・汚泥の処理が発生します。
- 汚泥水の飛散や、階下などへの漏水リスクがあります。
- 水が使えない場所での施工が難しい場合があります。

NEW

## **乾式工法** / **ドライミストスリット工法**

### メリット

- 水を使いたくない場所での作業（機械室等）が可能です。
- 貫通作業が可能です。
- 漏水リスクや環境負荷が小さい工法です。

### デメリット

- 湿式工法よりも高価になります。
- 湿式工法よりも作業施工性が悪くなります。

（外部で酷暑の中の作業等、諸条件によって施工できない可能性があります。）

# 工事オプション

## 充填物除去

- 事前に配置された充填物を除去する必要がある場合に、コアや研り作業にて対応可能です。(但し、充填物除去後の壁補修等に対応していません)

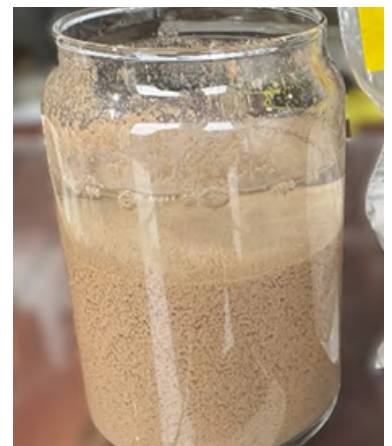


## 止水・防水処理

- 充填物除去後のスリット溝内部に止水処理を行い、湿式作業時のスリット溝内部のクラック等から壁内部の浸水を予防します。
- スリット溝構築後の防水処理により、スリット溝からの漏水を予防します。

## 簡易的ノロ処理

- 特別な薬剤を使用し、上水とノロ泥に分離することが可能です。(上水の排水処理は元請け様にてお願いいたします。)



## スリット改修

- 既存スリットの幅や深さ方向へ拡張することが可能です。
- 柱際などの入隅部分へスリットを構築できます。

# ワイデンスリットの活用

## スリット是正案件へのご提案

スリット是正案件に関して、従来よりもより良い工法をご提案します。

### 1 充填物除去

既存スリット材料の除去が必要な場合、全撤去または部分撤去することが可能です。

### 2 止水処理

既存スリット撤去内部に止水処理を行い、後の作業による漏水の危険性を低下させます。

### 3 湿式工法または 乾式工法／ドライミストスリット工法

施工環境や状況に合わせた工法で施工を行います。

### 4 防水処理

耐震スリットが施工完了後、スリット溝内部に防水処理を施し、将来の漏水に対して予防します。

【ワイデンスリット】は有限会社フジワラボーリング工業の登録特許、登録商標です。